



笑顔にあふれ 瞳輝く本城小!!

3月16日(木)

○中学校でも頑張っ！ ～本城小の卒業生として活躍を！～

3月16日(木)には、一足早く6年生の修了式を実施しました。振り返れば、6年生も保護者の皆様もあつという間の6年間だったのではないのでしょうか。

4月からはいよいよ中学生となります。本城小の卒業生として、勉強に運動にぜひ活躍してほしいと期待しています。

6年修了式 校長式辞より



とうとう6年生の皆さんは、明日が小学校での最後の1日となりますね。今日は、修了式として、6年生全員に6年の学習内容をすべて終えた証として修了証書をお渡ししました。明日の卒業式では、小学校の学ぶべきもの、すべて終えたことを認める卒業証書をお渡します。

さて、6年生の皆さんとは5・6年生の間一緒に生活しましたが、『何事にもこんなに真面目で一生懸命な子どもたちがいるのだろうか。』と思うくらい素晴らしい6年生でした。しかも、みんな心温かで、本城小にとっても自慢の6年生でした。そんなみなさん、6年生がいたからこそ、本城小の自慢できること、そうです、「ブランド」を立ち上げることにしたのです。素晴らしい挨拶、低学年のよき手本、行事を楽しむ、授業姿勢が立派、チームワークなど、皆さんが築いてくれたことばかりです。『ありがとうございました。』

卒業にあたっての、はなむけの言葉は明日お話ししますが、今日は、これから中学校、高校と進んでいく中で、こんな風に物事を考え、行動できるとよいのではないかという話をします。ちょっと難しいかもしれませんが、頑張っ聞いてください。

ことわざに「千里の道も一歩から」というものがあります。意味は、どんなに大きな目標でも、まずは目の前のできることから始めることが大事であることを表しています。つまり、こつこつと努力を重ねることで夢や目標が実現できるということです。まさに真面目で一生懸命に努力をする6年生にぴったりのことわざだと思ひます。卒業する6年生を含め、本城小の子どもたちには、ぜひ、「千里の道も一歩から」が普通にできるようになってほしいと期待しています。

4月からはいよいよ中学生ですね。本城小卒業を誇りに思ひ、ぜひ、中学校でさらに活躍してほしいと期待しています。

それでは、明日の卒業式、皆さんと共に素晴らしい式にしまししょう。

以上で式辞とします。



○卒業生を代表して4名の6年生に聞いてみました！

Q「将来の夢」について・・・

6年生全員の夢が叶いますように！！

○○ ○○ さん

私の夢は、イラストレーターになることです。
なぜかという、一度ある作品に救われたことがあるからです。みんなから見れば普通の作品ですが、その人だけが感じ取ることができる作品には、作った人の思いがあるからです。作品が誰かを救えること、笑顔にすることができたらうれしいです。自分が救われたように、自分の作品で誰かを救いたたいと思っています。



〇〇 〇〇 さん

私の将来の夢は、産婦人科の看護師です。
新しい命に責任をもって全力でサポートし、元気な赤ちゃんの笑顔や、大変な思いをして産んだお母さんの安心した笑顔を見たいです。
みなさんも私が大人になって立派な看護師になった姿を、ぜひ、見に来てくださいね！



〇〇 〇〇 くん

ぼくの将来の夢は、サッカー選手になることです。
みんなを笑顔にしたり、みんなに優しくしたりして活躍できるようにになりたいです。そして、フランスの選手になりたいです。
なぜかという、フランスのムバッペ選手に憧れているからです。ドリブルとシュート力がすぎるムバッペ選手のようにになりたいです。



〇〇 〇〇 くん

ぼくの将来の夢は、建築士になることです。
理由は、家などの建物を設計するのが好きで、いろいろな建物を自分の手で設計して、家を建てたいと思っている人などの願いを叶えたいと思ったからです。もし、将来、今のままの夢で、建築士になっていたら、みんなの要望にそったよい家づくりをしたいです。



〇3月の生活目標

いよいよ令和4年度も残すところあとわずかとなりました。3月は、左のような気持ちをもって学校生活を送っています。
人は、「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言えれば、人間関係や社会生活で苦勞することはないとも言われています。また、人は必ず「出会い」と「別れ」の中で生活しています。いずれも大事なことだと思います。
本校の子どもたちは、本当に温かい心をもった児童が多いと感じています。そのような子どもたちと、温かな気持ちで残りの日々を頑張りたいと考えています。
6年生、明日の卒業式は温かな雰囲気、そして日本一の卒業式にしましょう！！

